

## 平成26年度 大阪文化祭賞

## 最優秀賞を山村友五郎さんに贈呈

## 大阪府内全公演のなかから決定

大阪の文化・芸術分野で際立った活躍をし、優れた公演を行った人や団体を顕彰する大阪文化祭賞(主催：大阪府、大阪市、関西・大阪21世紀協会)。51回目となる平成26年度からは、従来の5～6月開催公演のエントリー制を改め、年間を通して大阪府内で開催されたすべての公演が審査対象となった(今年度は5～12月が対象期間)。

ジャンルはこれまで通り「伝統芸能・邦舞・邦楽(第1部門)」「現代演劇・大衆芸能(第2部門)」「洋舞・洋楽(第3部門)」で、関西の著名な芸術家や文化人らによる審査委員会で最終選考を行い、各賞が決定した。

そのなかで、各部門を通じてもっとも優れた成果を上げた公演に贈られる最優秀賞は、昨年7月に日本舞踊・山村流の流祖「友五郎」を120年ぶりに襲名した山村流六世宗家の三代目山村友五郎さんに決定。昨年9月に国立文楽劇場(大阪市)で行われた「三代目山村友五郎・四代目山村若 襲名披露舞扇会」を主催した友五郎さんが、「流儀の一門ばかりか日本舞踊会を代表する各流派元も招いて、邦舞の祭典ともいえる花も実もある舞台を展開したことは、上方舞のよさを一般に広く再認識させるとともに、大阪の伝統文化を活性化させる意義深いものであった」と高く評価された。

今年3月10日、リーガロイヤルNCB(大阪市北区)において、各賞の贈呈式と友五郎さんの受賞記念公演が行われた。松井一郎大阪府知事から表彰を受けた友五郎さんは、「早逝した母(五世宗家)は、友五郎の襲名を強く望んでいた。母の33回忌にあたる年に、このような素晴らしい賞をいただきとても嬉しい」と受賞の喜びを述べ、長男の四代目山村若さんと祝舞「八千代獅子」を披露した。また、この日の記者懇談会では、「友五郎襲名が大阪の伝統文化を活性化の一助になれば嬉しい。初代友五郎の作品も復活させたい」と三代目の意気込みを語った。

賞贈呈式では、奨励賞を受賞した関西弦楽四重奏団も記念公演を行った。

三代目山村友五郎さん(右)と四代目山村若さん(左)(受賞記念公演にて)



三代目 山村友五郎さん(右)

昭和39(1964)年大阪生まれ。祖母(四世宗家若)や母(糸・五世宗家)のもとで幼少より修業。現在、山村流舞踊会「舞扇会」を主宰するほか、東京の舞踊家と「五耀會」公演を定期的に開催し全国的に注目される。一門の育成指導、歌舞伎、文楽、宝塚歌劇などの振付、舞踊指導にもあたる。国立文楽劇場養成科講師、宝塚歌劇団日本舞踊講師、大阪芸術大学舞台芸術学科非常勤講師。

関西・大阪21世紀協会は、大阪文化祭賞を芸術・文化分野における人材の発掘や育成、交流事業の一環として重視し、受賞者の記者懇談会や記念公演を主催するな



関西弦楽四重奏団による受賞記念公演

どアピールに努めている。また、受賞者の一層の励みとなるよう、副賞賞金や記念盾も提供している。

## 平成26年度の各賞受賞者

## ■最優秀賞(副賞50万円)

- 舞扇会主催 山村流六世宗家 山村友五郎  
「三代目山村友五郎・四代目 山村若 襲名披露舞扇会」の成果

## ■優秀賞((副賞15万円)

- 維新派「透視図」の成果
- いずみホール「いずみホール・オペラ2014 歌劇 フィガロの結婚」の成果

## ■奨励賞(副賞5万円)

- 第24回上方歌舞伎会出演者一同「第24回 上方歌舞伎会」の成果
- 林家花丸「林家花丸独演会～人と人、情と情」の成果
- 安積瑠璃子「大阪バレエ・カンパニー公演 『海賊』における主役メドーラ」の成果
- 関西弦楽四重奏団「関西弦楽四重奏団」演奏会の成果

